

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		りんくはこだて					公表日	令和7年 3月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・必要に応じて各部屋に分けて支援している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		・クールダウン時にも職員配置し、必要に応じて3箇所に分け工夫している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%		・バリアフリー化への検討		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・清掃と消毒の回数を増やしている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・朝会にて、話し合いの機会を設けている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17%	83%		・外部評価機関の設置について検討中です		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・外部研修で費用が発生する場合は法人負担にて受講できる体制を整えます。また、定期的に内部研修も行う			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・令和7年1月ホームページにて公表中です			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・定期的に行うカンファレンス会議の場にて検討を行います			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・定期的に行うカンファレンス会議の場にて検討を行います			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			・朝会で確認を行います
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			・終礼時の振り返りが、送迎等の状況によりできない場合は、必ず翌日の朝会で行います
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			・療育現場では簡易的な記録ノートに一時記録し、後に個人日誌への転記を行っています
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			・カンファレンス会議の場にて評価を行っております
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	33%		・教育（学校）との連携体制について、当事業所から支援会議の開催等を要望する場合があります
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%		・放デイ利用前に、児童発達支援所等を訪問し、実際の療育現場や担当職員から情報を聴取してます
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%		・当事業所は現在、小学生の利用者のみ現在籍しており、障害福祉への移行経験がありません
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		・必要に応じて連携を図り、研修にも参加しております
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%			・近隣の児童館の協力を得て活動を行っております
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		・その日の出来事について報告を行い、りんくとして対応した内容について説明、共有をしております
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	83%	17%		・利用前に時間をかけて説明しています。支援プログラムや自己評価等はホームページに掲載中の旨伝えてます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			・利用前のアセスメント時やモニタリングの機会に、時間をかけて面談により、傾聴し確認を行っております
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			・アセスメントやモニタリングで得た情報に基づき作成した原案を保護者に提示、説明後に同意を得ています
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			・保護者には、悩みごとや困りごとがないか、職員から声掛けするよう心掛けております

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	・家族参加型のレクリエーションの機会を年間3～4回程度行っております	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・個人情報の取扱いについて研修を行ったのち、誓約書を交わしております	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%		・今年度は町会との連携を図るための協議を行ってまいります
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%		・ホームページで閲覧できるよう検討中です
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・安全計画による年間研修及び訓練等により行っております	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・アセスメント時に聴き取りを行っております	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	33%	67%	・アセスメント時に聴き取りを行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%	・安全計画による年間研修及び訓練等により行っております	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	・文章により配付しています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・月に1度開催の職員会議にて事例検討を行っております	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・当法人内に設置の虐待防止委員会による研修を年2回行っております	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・法人内に設置の身体拘束適正化委員会による指導のもと、適正に対応しております		